

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	東広島市 (34212)
地域名 (地域内農業集落名)	宇山地区 (第1、第2、第3、第4、第5、第6)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	105.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	86.6 ha
② 田の面積	87.4 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	17.6 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	11.4 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

- 注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
 2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。
 3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
 4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
 5:(参考)の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
 6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・宇山地区は、宇山東地区及び宇山寺沖地区ほ場整備事業により基盤整備を実施した水田地域であるが、中山間急傾斜地に該当し、鳥獣被害の多い地域柄、高齢化の進行による将来的な農地保全への危機感があり、地域の話合いに基づき平成22年に農事組合法人うやまを設立し、農地の集積を図っている。
 ・平成30年7月豪雨災害により、多大な被害を被っており、被災田の復旧に取り組んでいる。
 ・法人未加入の農地所有者に対して加入を促進していくこととしている中、畦畔管理、水管理に関しては所有者が行うこととしているが、今後高齢化が進むにつれて負担の増大が予測され、課題となっている。また、相続人が遠方に住んでいる等、不在地主が増えており、農地所有者の意向把握に苦慮している。
 ・営農に支障を与えるほ場周辺の雑木の伐採等、環境整備について、法人役員の高齢化に伴い実施が難しくなっている。
 ・令和5年7月に実施した意向調査において、今後の農業経営について、規模縮小が37%であったほか、後継者のいない経営体が80%に上ったことに加え、地区の現状として「高齢化の進行」の回答が多く、今後の担い手の不足が懸念される状況にある。今後必要な取組みとしては、「有害鳥獣対策」が最多で、次いで「地域外からの担い手の確保」であった。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・農事組合法人うやまが中心となり、水の給排水が良いほ場は、水稻の作付を基本とする。また、減反してきた蕎麦、麦の圃場について、給排水の良いほ場は、水稻及びWCSの基本作付に変更し、収益の向上を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・地区内全域の農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地が農業上の利用が行われる区域とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	21.9 %	将来の目標とする集積率	50.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
・農地中間管理機構を活用して、農事組合法人うやまや認定新規就農者を中心に地域事情を考慮しながら団地面積の拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・規模縮小や離農を検討する農家があった場合には、農業委員や農地利用最適化推進委員と連携し、担い手に集積・集約化することにより、耕作放棄地の発生防止や解消に取り組む。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・将来の経営農地の集約化を目指し、農業をリタイア・経営転換する者は、原則として農地中間管理機構を通じて農地の貸借を行う。
(3)基盤整備事業への取組
・再ほ場整備について、地域の話し合いを通じて検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・地区内の農業後継者や認定新規就農者の育成を図るほか、意向調査において、新規就農者や農業企業の受入意向が62%と高かったことから、地域外から担い手の受入れを検討する。受入れに当たっては、住居を含め生活環境にも配慮して取り組む。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・委託により効率化が見込まれる農作業については、必要に応じて委託する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①宇山地区の水田、畑の農産物を鳥獣被害から守るため、「宇山鳥獣被害対策班」を組織しており、当該対策班を中心に、区内中山間管理地をパトロールし、現在設置している防護柵の被害状況、鳥獣害の出没状況を調査連絡する体制を整えている。令和6年度においては、大造田・東郷・野武士地域内の鳥獣被害状況及び対策状況を点検し、既設柵の張り直しや設置場所の見直しなどの対策を行っている。また、シカによる農作物被害に対応するため、野伏地域内のモデルほ場でイノシシ柵(鉄柵)をシカ対策が可能な複合柵(鉄柵+電気柵)に変更する取組みを行い、得た知識・ノウハウを活かし、他地域への横展開を図る。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	25経営体		40.4 ha	0 ha		40.4 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。

3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。

5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。

注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。

注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

(留意事項)

農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報保有に当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。

また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。

必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1	認農	水稲、そば、麦、野菜	23.0 ha	ha	水稲、そば、麦、野菜	23.0 ha	ha	緑 桃	
2	利用者	水稲、野菜、果樹	3.8 ha	ha	水稲、野菜、果樹	3.8 ha	ha		
3	利用者	水稲、野菜	1.5 ha	ha	水稲、野菜	1.5 ha	ha		
4	利用者	水稲、野菜	1.1 ha	ha	水稲、野菜	1.1 ha	ha		
5	利用者		1.1 ha	ha		1.1 ha	ha		
6	利用者		1.0 ha	ha		1.0 ha	ha		
7	利用者		0.9 ha	ha		0.9 ha	ha		
8	利用者	野菜、果樹	0.9 ha	ha	野菜、果樹	0.9 ha	ha		
9	利用者	水稲	0.8 ha	ha	水稲	0.8 ha	ha		
10	利用者		0.8 ha	ha		0.8 ha	ha		
11	利用者	野菜	0.7 ha	ha	野菜	0.7 ha	ha		
12	利用者	水稲	0.7 ha	ha	水稲	0.7 ha	ha		
13	利用者	果樹	0.6 ha	ha	果樹	0.6 ha	ha		
14	利用者		0.5 ha	ha		0.5 ha	ha		
15	利用者		0.4 ha	ha		0.4 ha	ha		
16	利用者		0.4 ha	ha		0.4 ha	ha		
17	利用者		0.4 ha	ha		0.4 ha	ha		
18	利用者	野菜	0.4 ha	ha	野菜	0.4 ha	ha		
19	利用者		0.4 ha	ha		0.4 ha	ha		
20	利用者		0.3 ha	ha		0.3 ha	ha		
21	利用者		0.2 ha	ha		0.2 ha	ha		
22	利用者	野菜	0.2 ha	ha	野菜	0.2 ha	ha		
23	利用者	水稲、野菜	0.1 ha	ha	水稲、野菜	0.1 ha	ha		
24	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha		
25	利用者		0.1 ha	ha		0.1 ha	ha		